

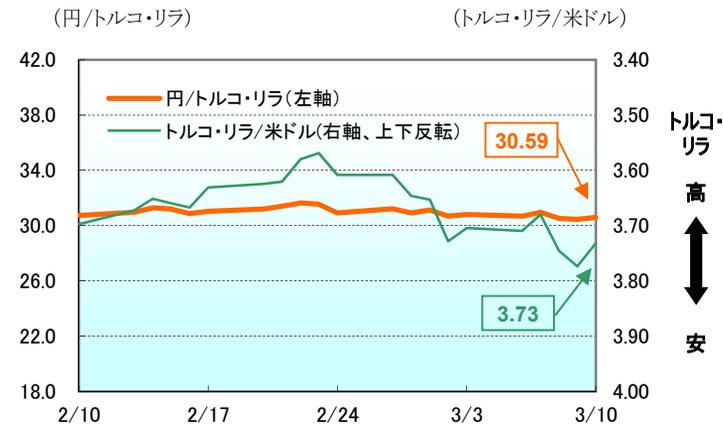
## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年3月4日～2017年3月10日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。米国の利上げ懸念から為替市場で新興国通貨が軟調となる中で、債券市場では、今週の金融政策会合において通貨安やインフレ加速に対応した金融引き締めが行われるとの観測が強まり、トルコ国債の金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年2月10日～2017年3月10日)

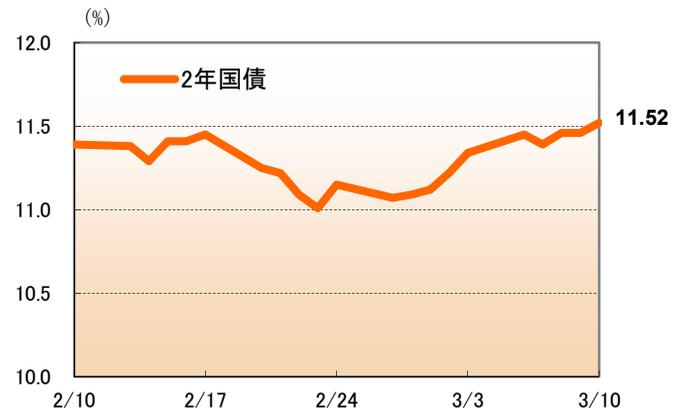


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は16日(現地)に金融政策会合が開催され、景気への配慮と通貨安やインフレの抑制のどちらを重視するか注目が集まります。エコノミストの間では、通貨安に対抗するために政策金利の一部を引き上げるとの見方が多くなっています。また、4月の国民投票を控えて憲法改正をめぐる思惑や、大臣の入国拒否に見られる欧州諸国との関係悪化の行方と影響にも注意が必要です。

【トルコ 金利推移】 (2017年2月10日～2017年3月10日)



### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/13	月次	1月	経常収支	-27.6億ドル	-42.9億ドル
3/16	月次	-	1週間物レポ金利	-	8.00%
3/16	月次	-	翌日物貸出金利	-	9.25%
3/16	月次	-	翌日物借入金利	-	7.25%
3/16	月次	-	後期流動性貸出金利	-	11.00%

※「主要経済指標」は、資料作成時点のデータを基に作成しております。

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>